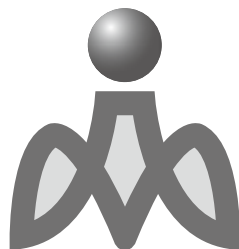


山 梨 県

商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔平成27年4月～6月実績〕  
〔平成27年7月～9月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会



# 目 次

I 調 査 要 領 .....	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観 .....	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	3
(2) 主な項目でみる業況 .....	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	6
(2) 主な項目でみる業況 .....	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	9
(2) 主な項目でみる業況 .....	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	12
(2) 主な項目でみる業況 .....	12



## 【I】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

### 2. 調査対象期間

第1四半期 平成27年4月～6月期 「調査時点：平成27年6月1日」

### 3. 調 査 方 法

県下の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービ業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韭 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市川三郷町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南都留中部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

### 5. そ の 他

①本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

②次頁【II】1. 産業全体の業況概観・・・については、商工会調査企業ばかりでなく、他の本県経済団体調査企業（卸売業を含む）を含んだ286サンプルによるものである。

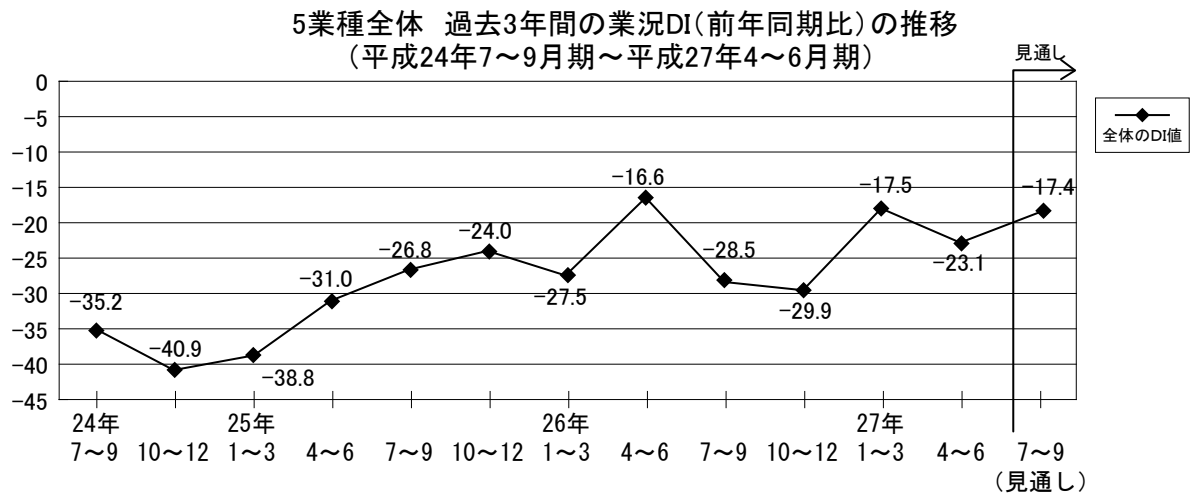
## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断DI、及び、産業別の業況判断DIについてみる。

まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断DIである。今期の業況判断DIは、▲23.1と前期比で5.6ポイント悪化している。

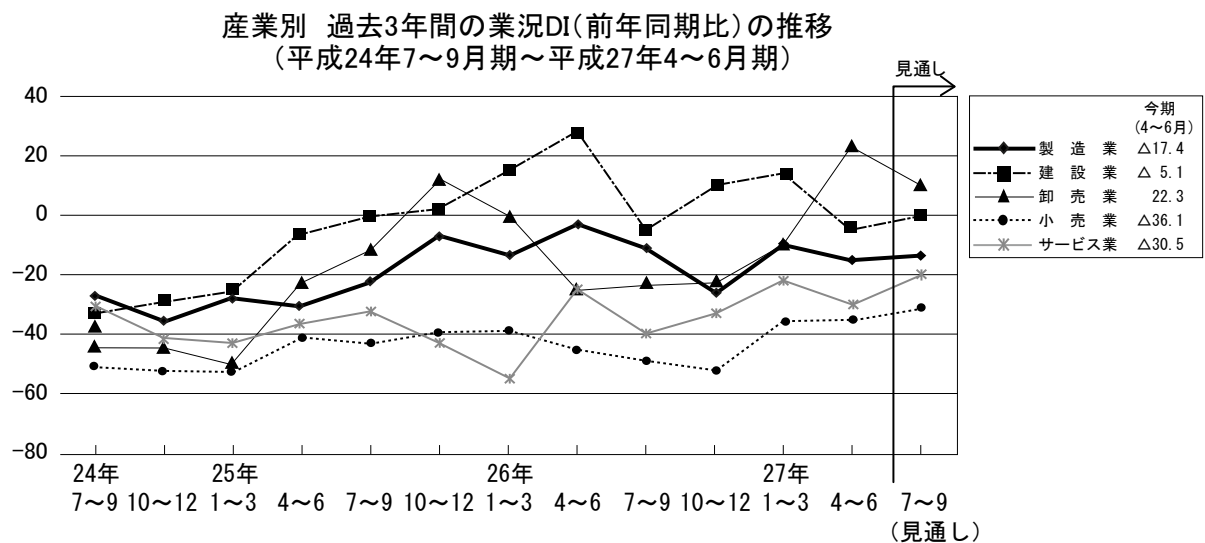
一方、来期については、▲17.4と改善の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断DIである。

製造業が▲17.4と前期比で5.9ポイント、建設業が▲5.1と前期比で20.5ポイント、サービス業が▲30.5と前期比で8.1ポイント悪化している。一方、卸売業は22.3と前期比で33.4ポイントと大幅に改善し、小売業も▲36.1と前期比で0.4ポイント改善している。

来期は、製造業、建設業、小売業、サービス業が改善見通しである一方、卸売業が悪化する見通しとなっている。



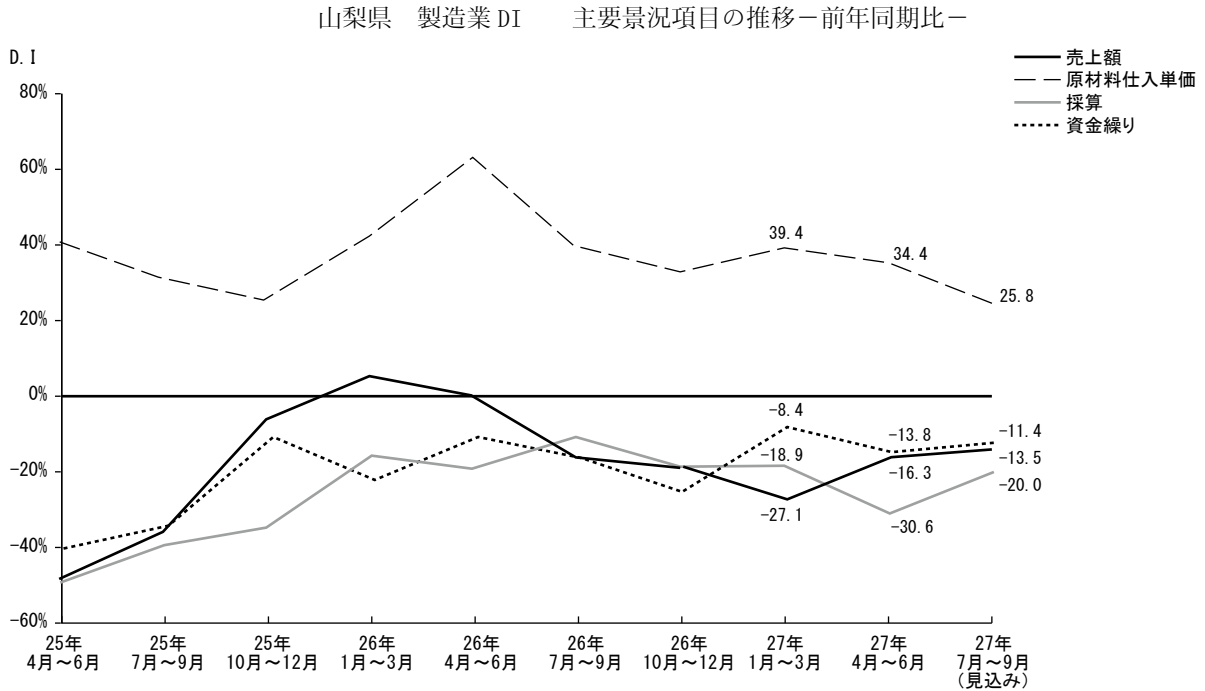
【注記】上記、産業全体の業況概観については、県内経済団体が調査した286企業の回答に基づく県内全体の業況DIである。なお、次ページ以降は、商工会が調査した165企業（全て小規模企業）の回答に基づく商工会エリア（甲府市・富士吉田市地域を除く）の業種別景況DI等の詳細である。

## 2. 製造業の動向

### (1) 景況概観

売上額DIについては、今期は▲16.3と前期比で10.8ポイント改善している。来期は▲13.5と更に改善する見通しとなっている。原料仕入単価DIは、今期は34.4と前期比で5ポイント低下(改善)している。来期は25.8と更に改善する見通しとなっている。採算DIは、今期は▲30.6と前期比で11.7ポイント悪化している。一方、来期は▲20.0と改善する見通しとなっている。資金繰りDIは、今期は▲13.8と前期比で5.4ポイント悪化している。一方、来期は▲11.4と改善する見通しとなっている。

今期は、採算DI、資金繰りDIが悪化したものの、来期は、全てのDIが改善する見通しとなっている。

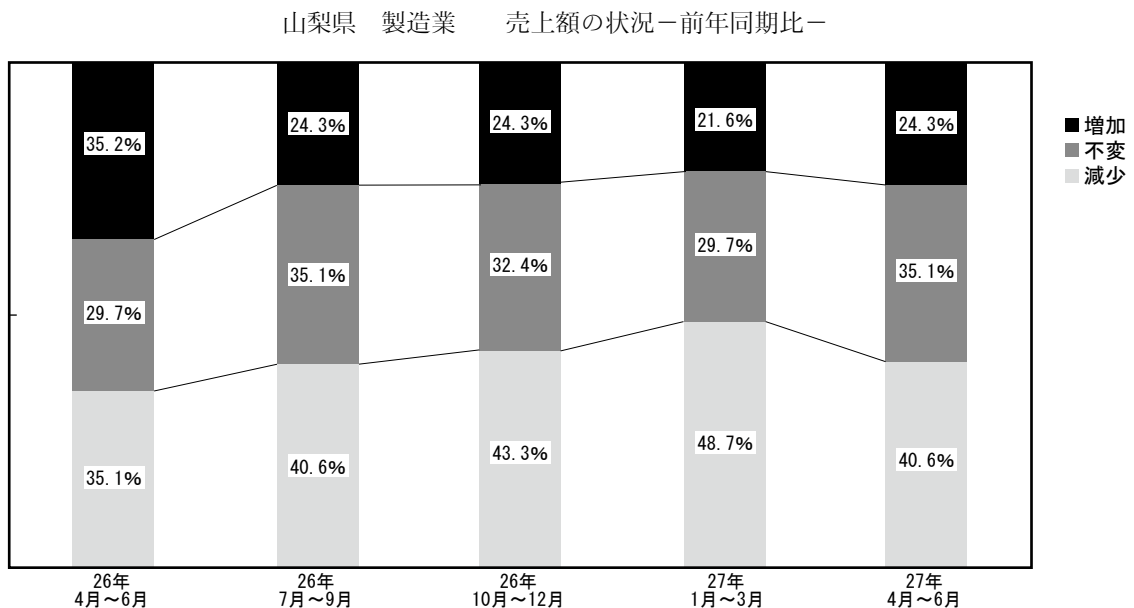


### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額 (売上額DIの内容 (回答企業数 37社))

「増加」と答えた企業の割合は、24.3% (9社)と増加(前期比 +1社)している。

「不変」も35.1% (13社)と増加(前期比 +2社)し、「減少」は40.6% (15社)と減少(同 △3社)している。



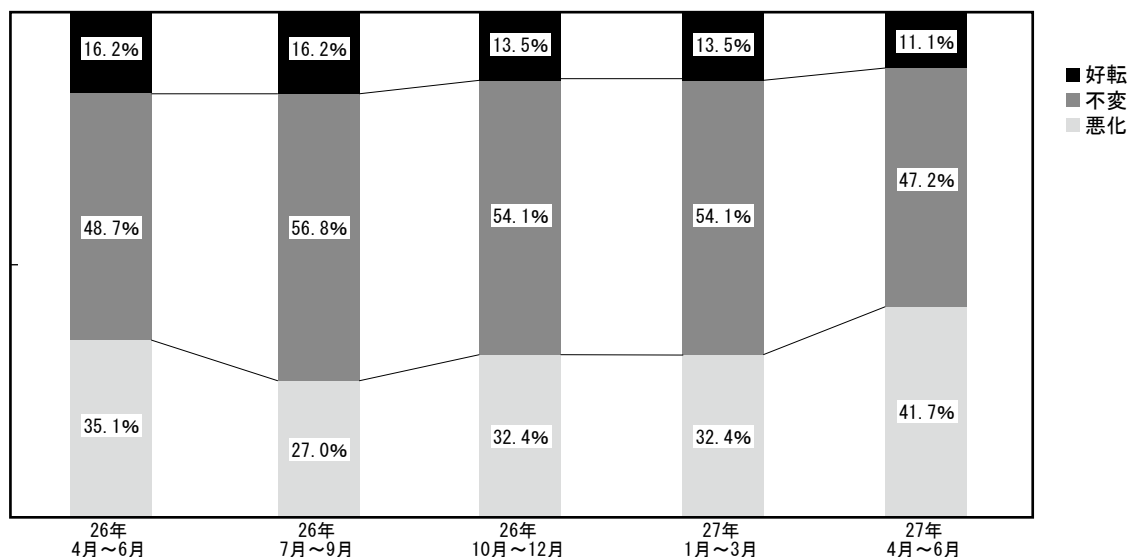
② 採算（採算DIの内容（回答企業数36社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、11.1%（4社）と減少（前期比 △1社）している。

また、「不変」も47.2%（17社）と減少（前期比 △3社）している一方、「悪化」は41.7%（15社）と増加（前期比 +3社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－



③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

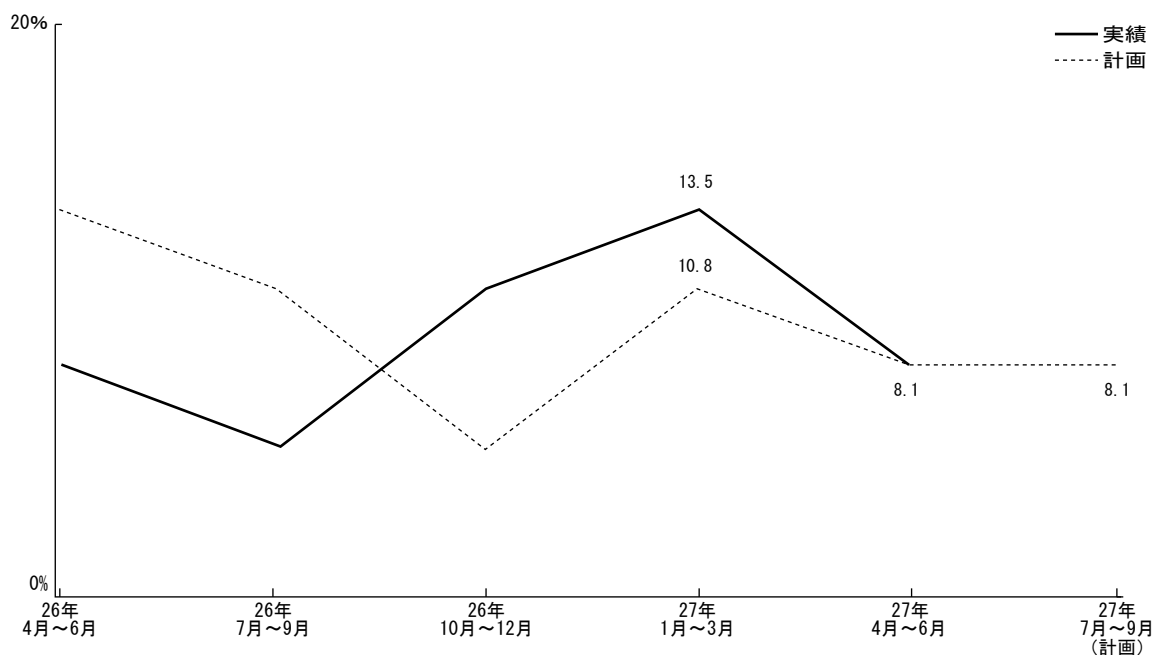
今期において、設備投資を行った企業の割合は8.1%（3社）であった（前期比 △5.4%）。

その設備投資の内容は、「工場建物」、「生産設備」、「付帯施設」が1件ずつであった。

来期の計画については、8.1%（3社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「工場建物」が1件、「生産設備」が3件になる。

山梨県 製造業 設備投資の状況





④ 経営上の問題点（回答企業数 34 社）

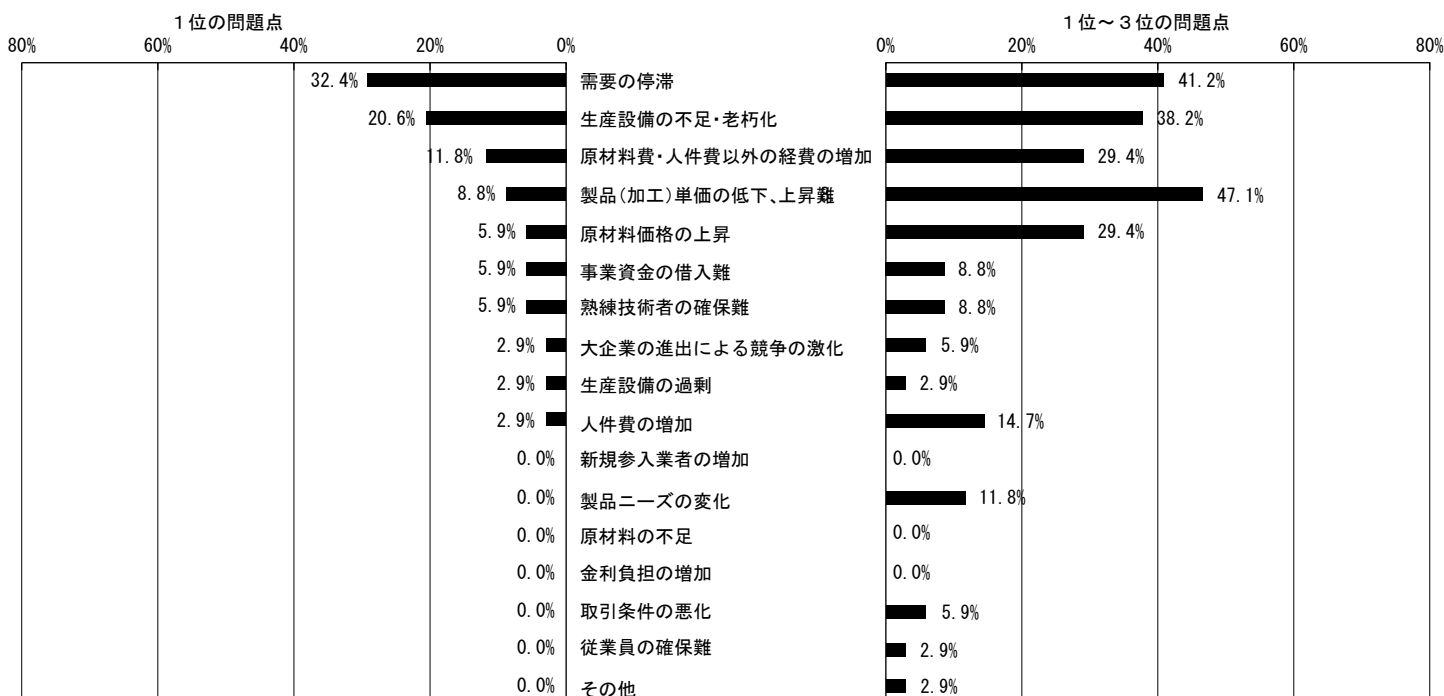
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 32.4%（11 社）であり、2 番目は、「生産設備の不足・老朽化」の 20.6%（7 社）になる。さらに、「原材料価格の上昇」の 11.8%（4 社）と続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「製品（加工）単価の低下、上昇難」47.1%（16 社）であり、2 番目は、「需要の停滞」の 41.2%（14 社）になる。そのあと、「生産設備の不足・老朽化」の 38.2%（13 社）と続く。

山梨県 製造業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	14
飲料・飼料・たばこ製造業	1	3
衣服・その他繊維製品製造業	0	3
印刷・同関連業	2	5
化学工業	1	5
プラスチック製品製造業	4	11
金属製品製造業	2	5
一般機械器具製造業	13	32
電気機械器具製造業	2	5
輸送用機械器具製造業	1	3
その他製造業	6	14
合計	37	100

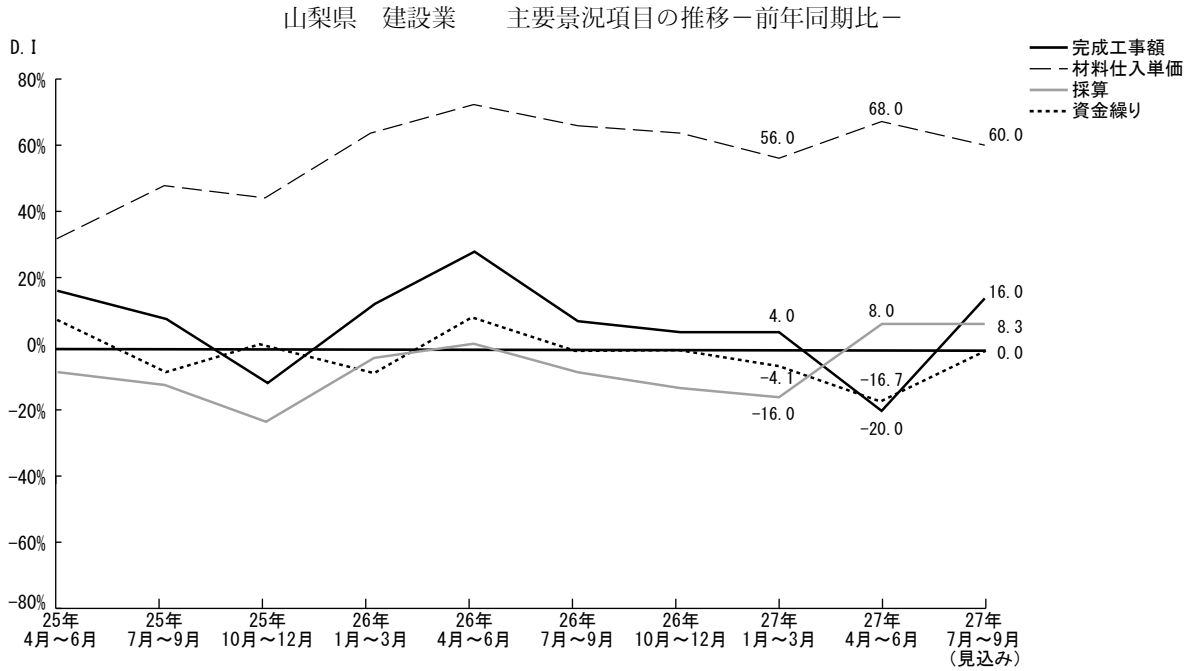
従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇	い	企業数	構成比(%)
2 人以下	24	62.2	20	51.4
3 人～5 人以下	5	16.2	5	13.5
6 人～10 人以下	4	10.8	7	21.6
11 人～20 人以下	4	10.8	5	13.5
合計	37	100	37	100

### 3. 建設業の動向

#### (1) 景況概観

完成工事額D Iについては、今期は▲20.0と前期比で24ポイント悪化している。一方、来期は16.0と大幅に改善する見通しとなっている。材料仕入単価D Iは、今期は68.0と前期比で12.0ポイント上昇(悪化)している。一方、来期は60.0と低下(改善)する見通しとなっている。採算D Iは、今期は8.0と前期比で24.0ポイント改善している。来期は、8.3と更に改善する見通しとなっている。資金繰りD Iは、今期は▲16.7と前期比で12.6ポイント悪化している。一方、来期は0.0と改善する見通しとなっている。今期は採算を除く全てのD Iが悪化したものの、来期は全てのD Iで改善する見通しとなっている。

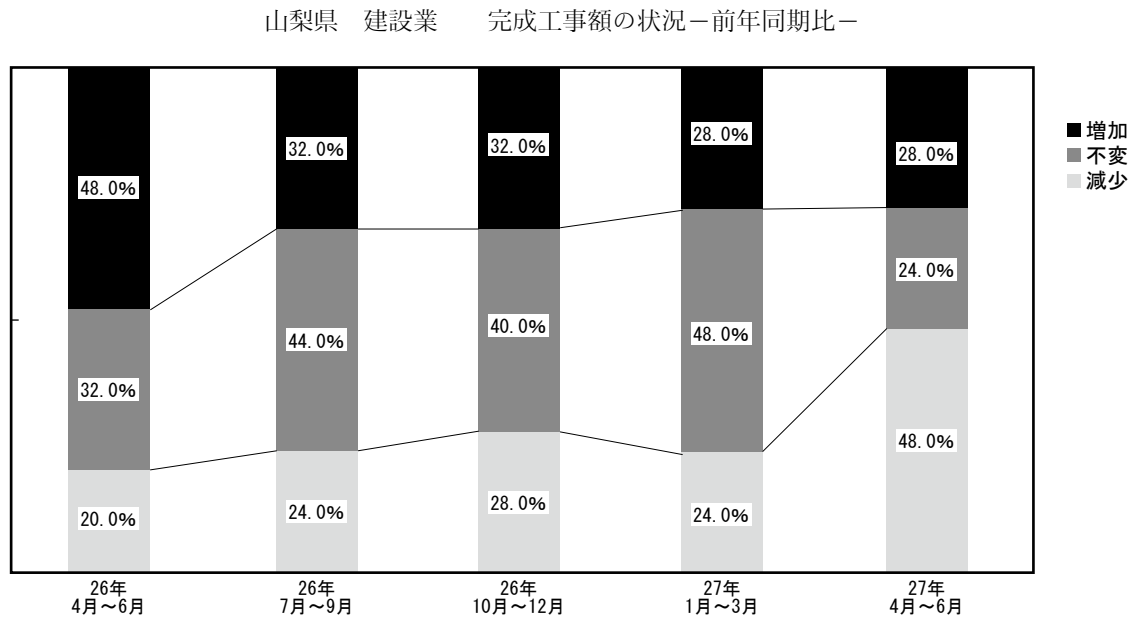


#### (2) 主な項目で見る業況

##### ① 完成工事額 (回答企業数 25 社)

「増加」と答えた企業の割合は、28.0% (7 社) と横ばいとなっている。

「不変」は24.0% (6 社) と減少 (前期比 △6 社) し、「減少」は48.0% (12 社) と増加 (前期比+6 社) している。



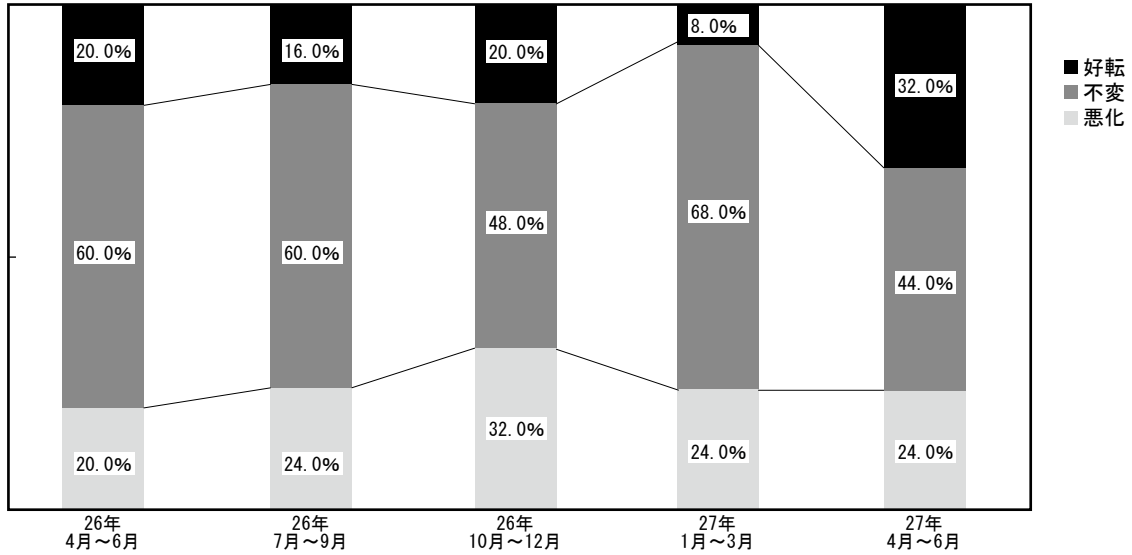
② 採算（採算DIの内容（回答企業数25社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、32.0%（8社）と増加（前期比+6社）している。

一方、「不変」は44.0%（11社）と減少（前期比▲6社）し、「悪化」は24.0%（6社）と横ばいとなっている。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－



③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

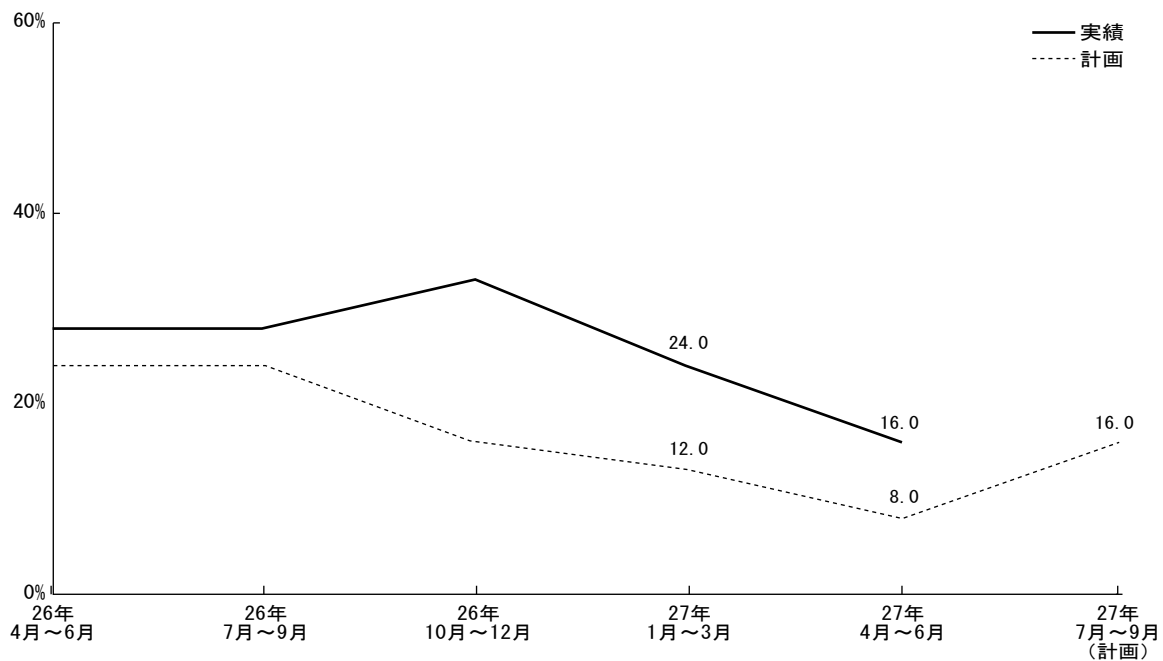
今期において、設備投資を行った企業の割合は16.0%（4社）であった（前期比▲8.0%）。

その設備投資の内容は、「建物」、「車両・運搬具」が2件ずつ、「OA機器」、「福利厚生施設」が1件ずつであった。

来期の計画については、16.0%（4社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「建設機械」が1件、「車両・運搬具」が2件、「その他」が1件になる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数 24 社）

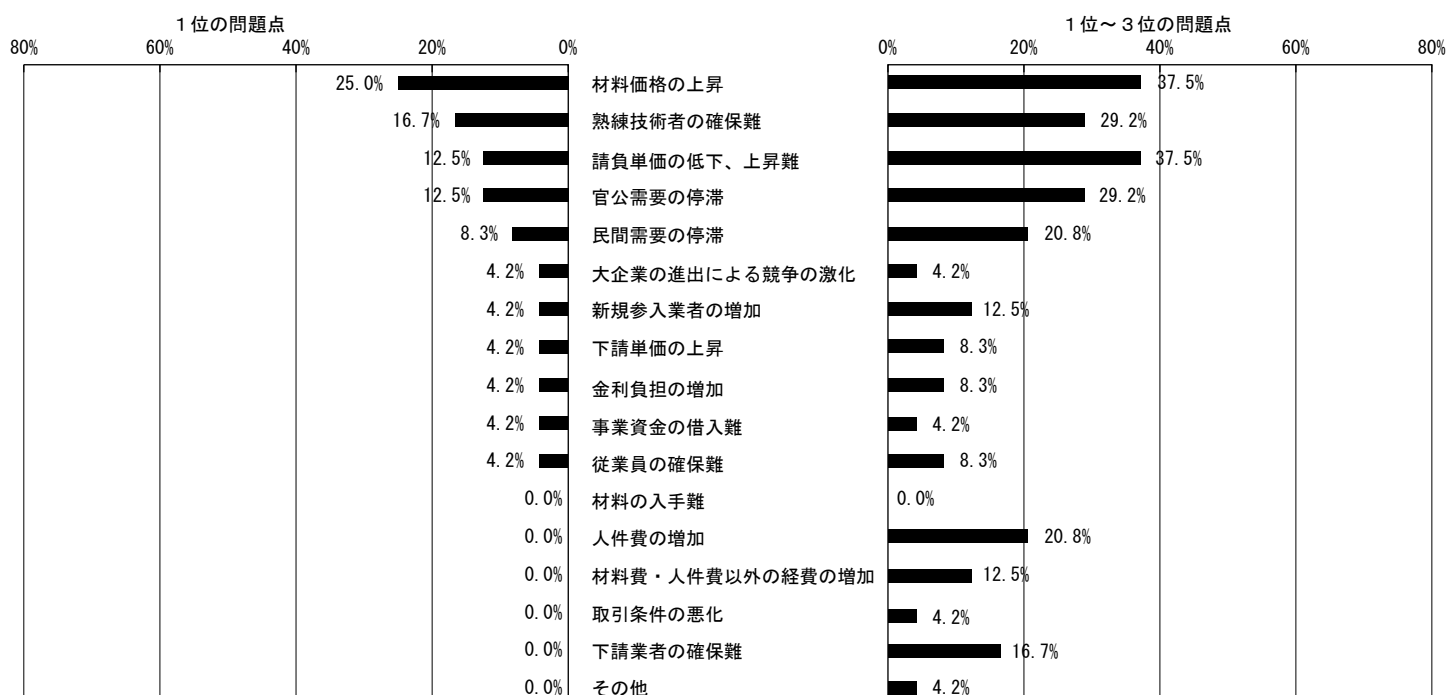
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「材料価格の上昇」の 25.0%（6 社）であり、2 番目に多かったのは「熟練技術者の確保難」の 16.7%（4 社）になる。そのあと、「請負単価の低下、上昇難」、「官公需要の停滞」の 12.5%（3 社）と続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「材料価格の上昇」、「請負単価の低下、上昇難」の 37.5%（9 社）である。そのあと、「熟練技術者の確保難」、「官公需要の停滞」の 29.2%（7 社）と続く。

山梨県 建設業 経営上の問題点の状況



(5) 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	18	72
職別工事業	4	16
設備工事業	3	12
合計	25	100

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇	い	企業数	構成比(%)
2 人以下	9	36.0	8	32.0
3 人～5 人以下	7	28.0	8	32.0
6 人～10 人以下	4	16.0	4	16.0
11 人～20 人以下	5	20.0	5	20.0
合計	25	100	25	100

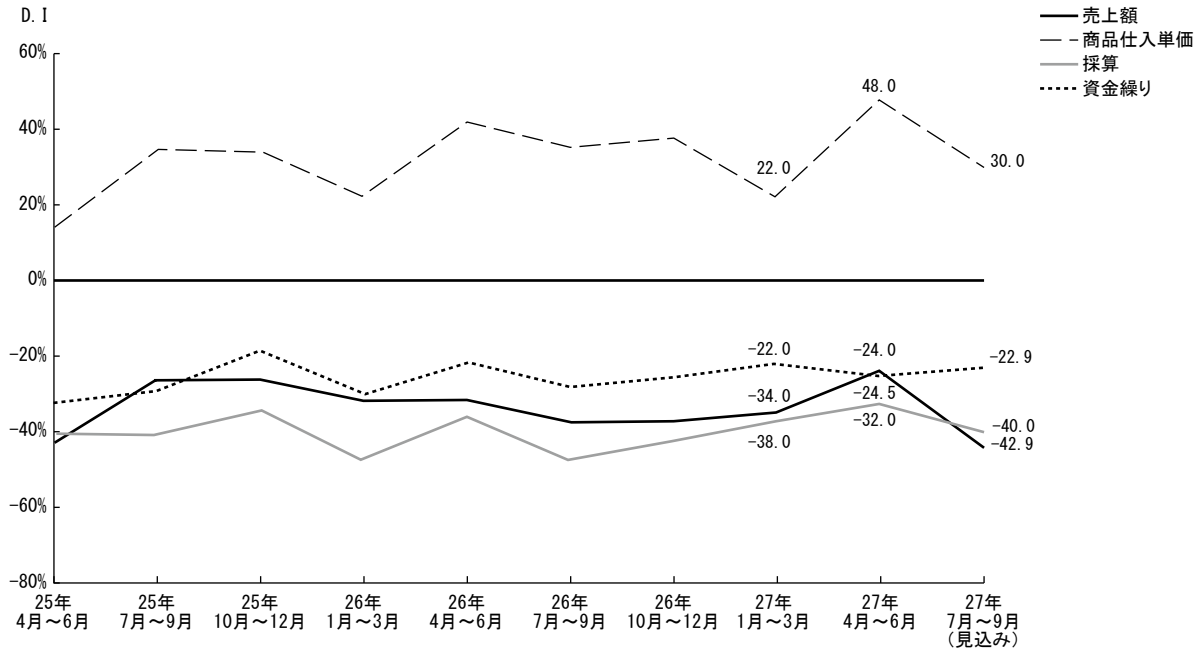
## 4. 小売業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iについては、今期は▲24.0と前期比で10.0ポイント改善している。一方、来期は▲42.9と大幅に悪化する見通しとなっている。商品仕入単価D Iは、今期は48.0と前期比で26.0ポイント上昇（悪化）している。一方、来期は30.0と低下（改善）する見通しとなっている。採算D Iは、今期は▲32.0と前期比で6.0ポイント改善している。一方、来期は▲40.0と悪化する見通しとなっている。資金繰りD Iは、今期は▲24.5と前期比で2.5ポイント悪化している。来期は▲22.9と改善する見通しとなっている。

今期は、売上額D I、採算D Iで改善、商品仕入単価D I、資金繰りD Iで悪化した一方、来期は、その逆の動きになる見通しとなっている。

山梨県 小売業 主要景況項目の推移－前年同期比－



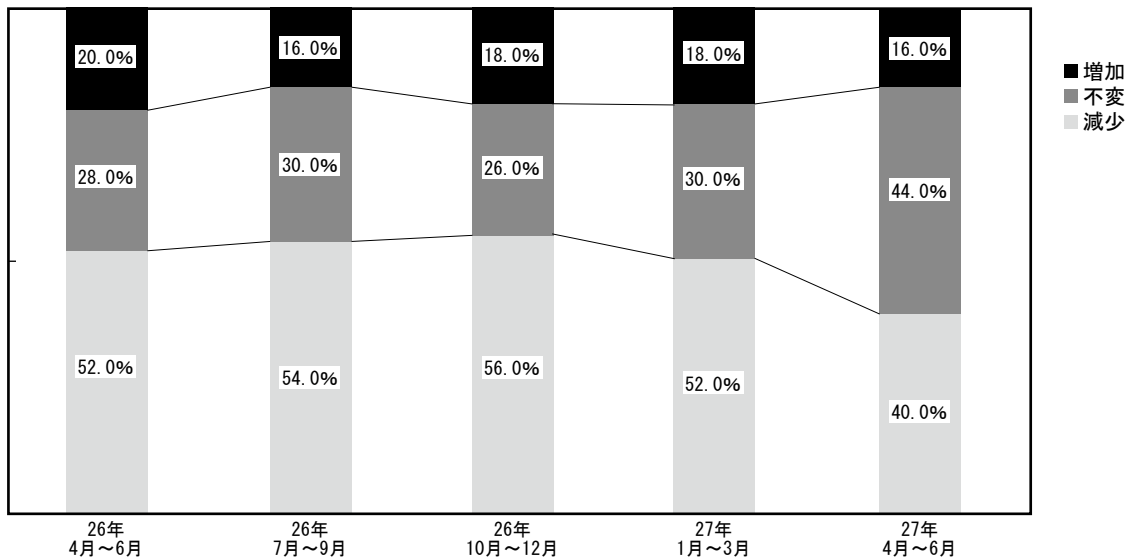
### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（回答企業数 50 社）

「増加」と答えた企業の割合は、16.0%（8社）と減少（前期比 ▲1社）している。

一方、「不変」は44.0%（22社）と増加（前期比 +7社）し、「減少」は40.0%（20社）と減少（同 ▲6社）している。

山梨県 小売業 売上額の状況－前年同期比－



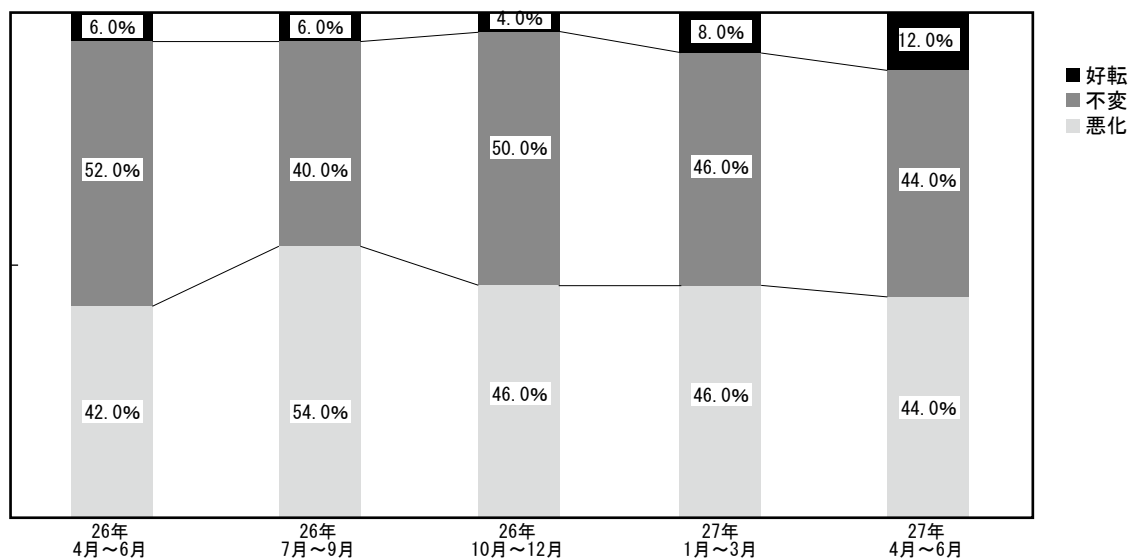
② 採 算（採算 DI の内容（回答企業数 50 社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.0%（6 社）と増加（前期比 + 2 社）している。

一方、「不変」は 44.0%（22 社）と減少（前期比 ▲ 1 社）し、「悪化」についても 44.0%（22 社）と減少（前期比 ▲ 1 社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－



③ 設備投資（直近 1 年間における設備投資の状況（回答企業数 50 社））

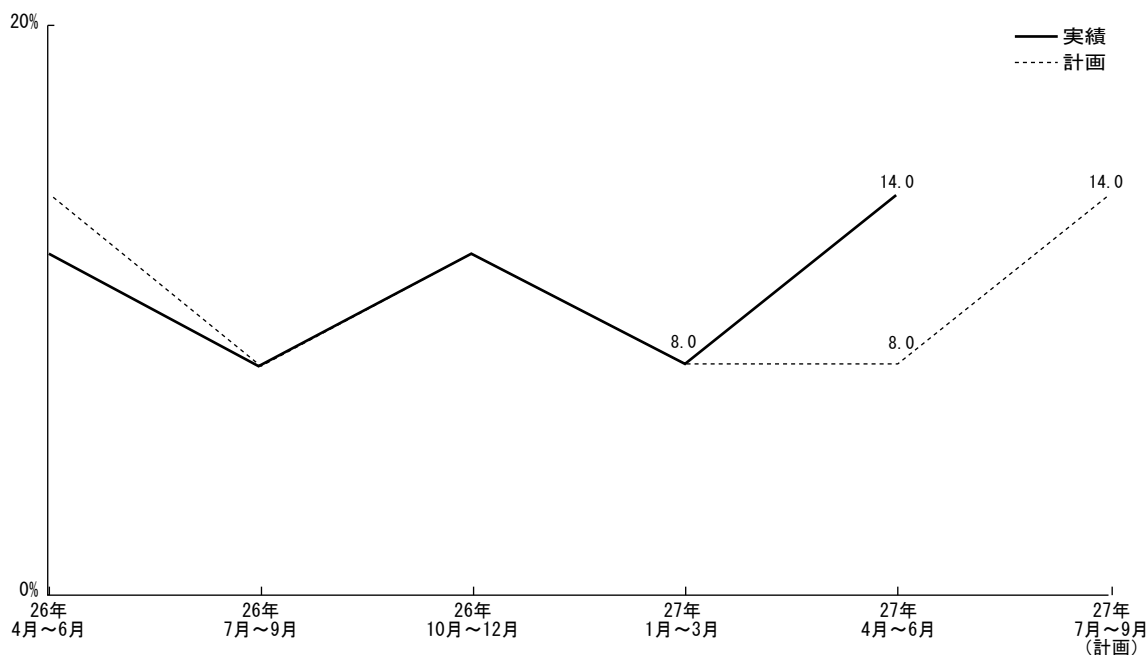
今期において、設備投資を行った企業の割合は 14.0%（7 社）であった（前期比 + 6.0%）。

その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が 3 件、「販売設備」が 2 件、「店舗」、「付帯施設」、「OA 機器」、「その他」が 1 件ずつであった。

来期の計画については、14.0%（7 社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「販売設備」が 3 件、「付帯施設」、「OA 機器」が 2 件ずつ、「店舗」、「車両・運搬具」、「その他」が 1 件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数 48 社）

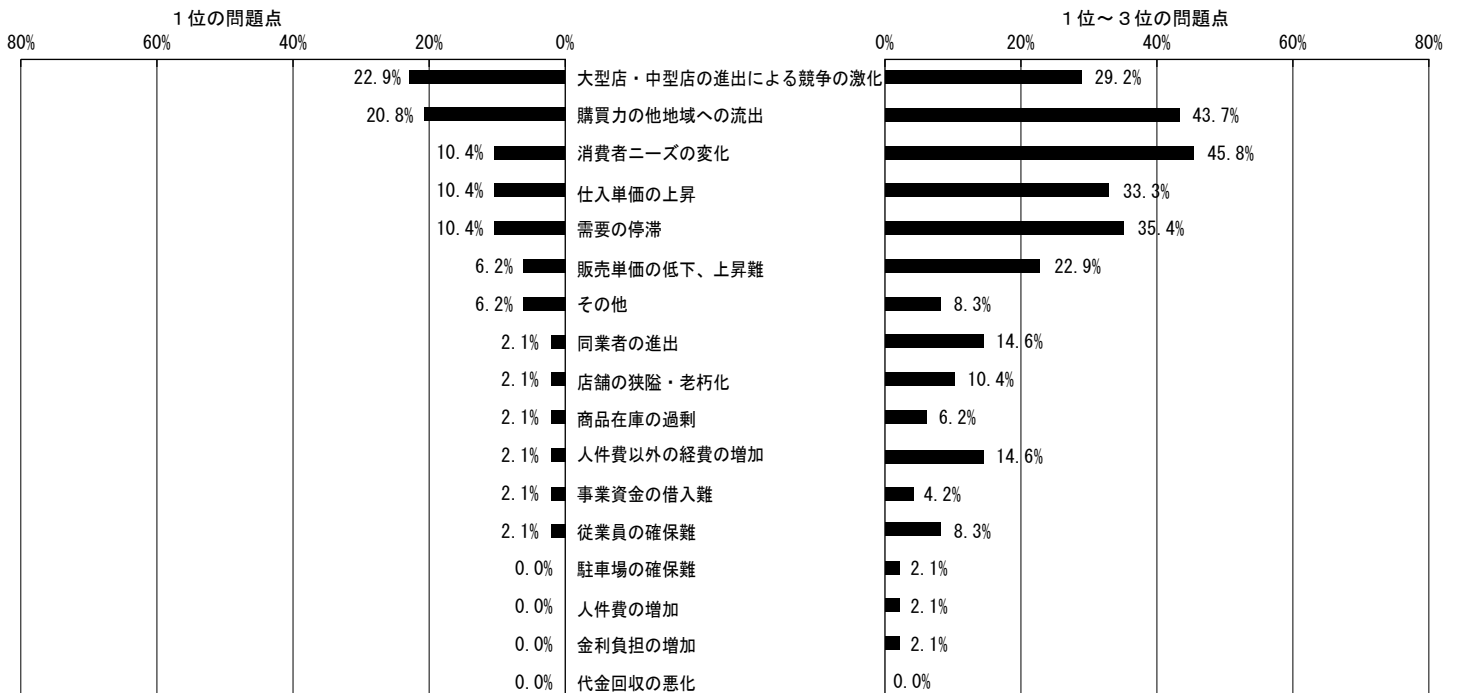
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは「大型店・中型店の進出による競争の激化」の22.9%（11社）であり、2番目に多かったのは、「購買力の他地域への流出」の20.8%（10社）になる。そのあと、「消費者ニーズの変化」、「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」の10.4%（5社）と続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「消費者ニーズの変化」の45.8%（22社）であり、2番目に多かったのは「購買力の他地域への流出」の43.7%（21社）になる。そのあと、「需要の停滞」の35.4%（17社）と続く。

山梨県 小売業 経営上の問題点の状況



(5) 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0
織物・衣服・身の回り品小売業	12	22
飲食料品小売業	16	36
自動車・自転車小売業	3	6
家具・建具・じゅう器小売業	4	10
その他小売業	15	26
合計	50	100

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数	構成比(%)	企業数	構成比(%)
2 人以下	45	90.0	39	80.0
3 人～5 人以下	5	10.0	11	20.0
6 人～10 人以下	0	0.0	0	0.0
11 人～20 人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100	50	100

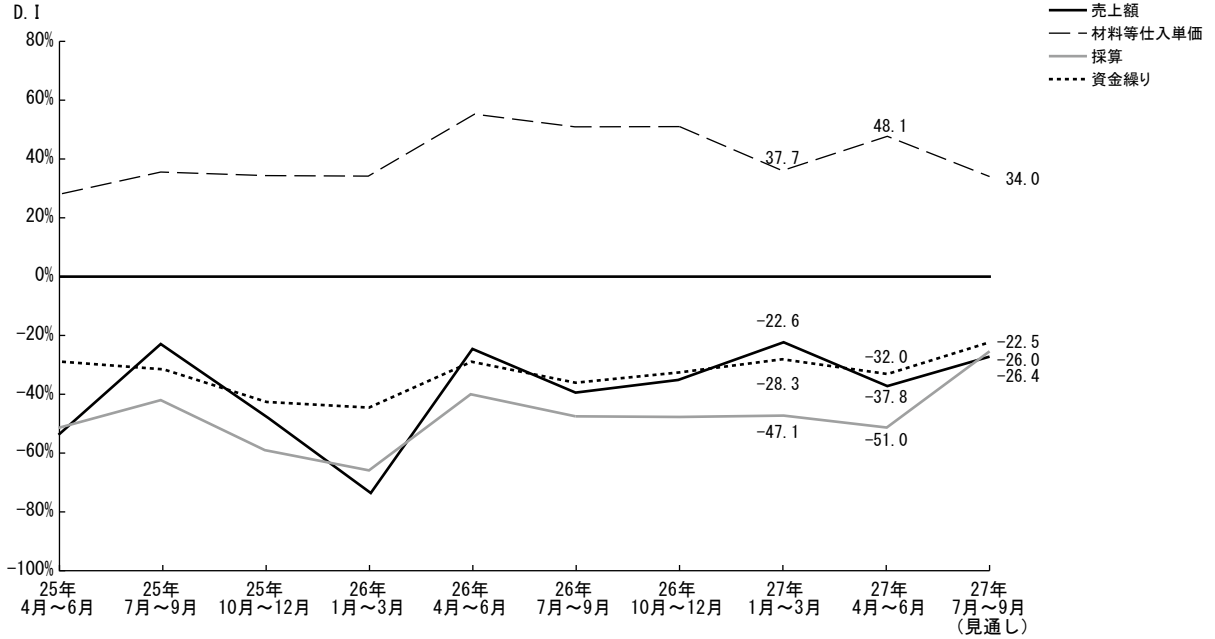
## 5. サービス業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iについては、今期は▲37.8と前期比で15.2ポイント悪化している。一方、来期は▲26.4と改善する見通しとなっている。材料仕入単価D Iは、今期は48.1と前期比で、10.4ポイント上昇（悪化）している。一方、来期は、34.0と低下（改善）する見通しとなっている。採算D Iは、今期は▲51.0と前期比で3.9ポイント悪化している。一方、来期は▲26.0と大幅に改善する見通しとなっている。資金繰りD Iは、今期は▲32.0と前期比で▲3.7ポイント悪化している。一方、来期は▲22.5と改善する見通しとなっている。

今期は全てのD Iで悪化しているものの、来期は、全てのD Iが改善する見通しとなっている。

山梨県 サービス業 主要景況項目の推移—前年同期比—



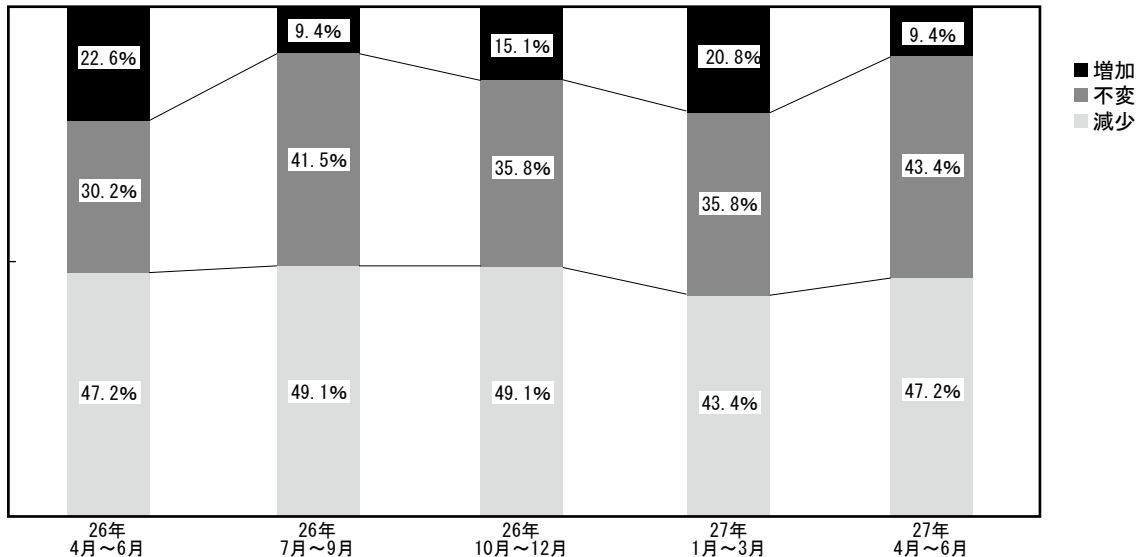
### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（回答企業数 53 社）

「増加」と答えた企業の割合は、9.4%（5社）と減少（前期比 6▲社）している。

一方、「不変」は43.4%（23社）と増加（前期比 +4社）し、「減少」についても47.2%（25社）と増加（前期比 +2社）している。

山梨県 サービス業 売上額の状況—前年同期比—





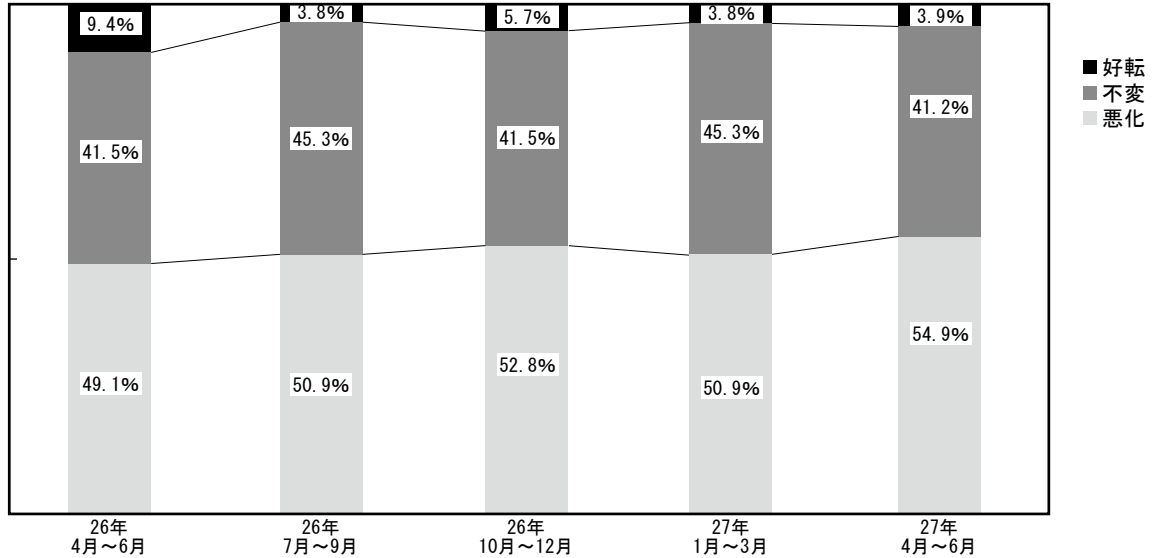
② 採算（採算DIの内容（回答企業数51社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、3.9%（2社）と横ばいとなっている。

「不変」は41.2%（21社）と減少（前期比 ▲2社）している一方、「悪化」は54.9%（28社）と増加（同+2社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況—前年同期比—



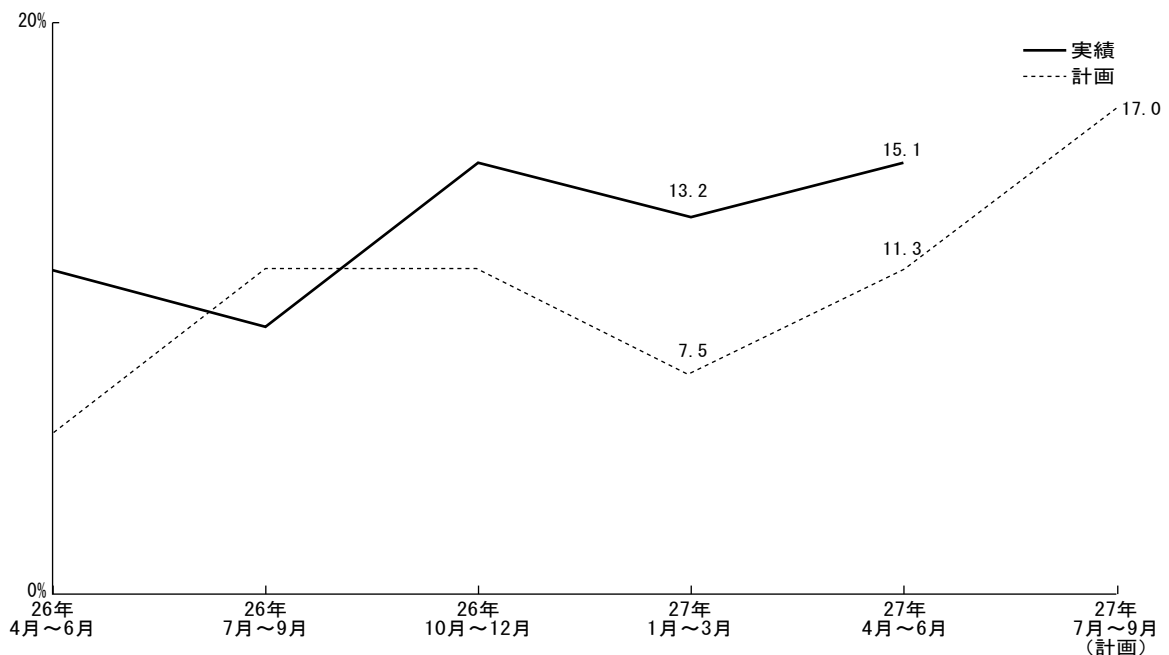
③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は15.1%（8社）であった（前期比 +1.9%）。

その設備投資の内容は、「建物」、「付帯施設」が3件ずつ、「サービス」、「その他」が1件ずつであった。来期の計画については、17.0%（9社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「建物」が3件、「サービス」、「付帯設備」、「OA機器」、「その他」が2件ずつ、「車両・運搬具」が1件になる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数 45 社）

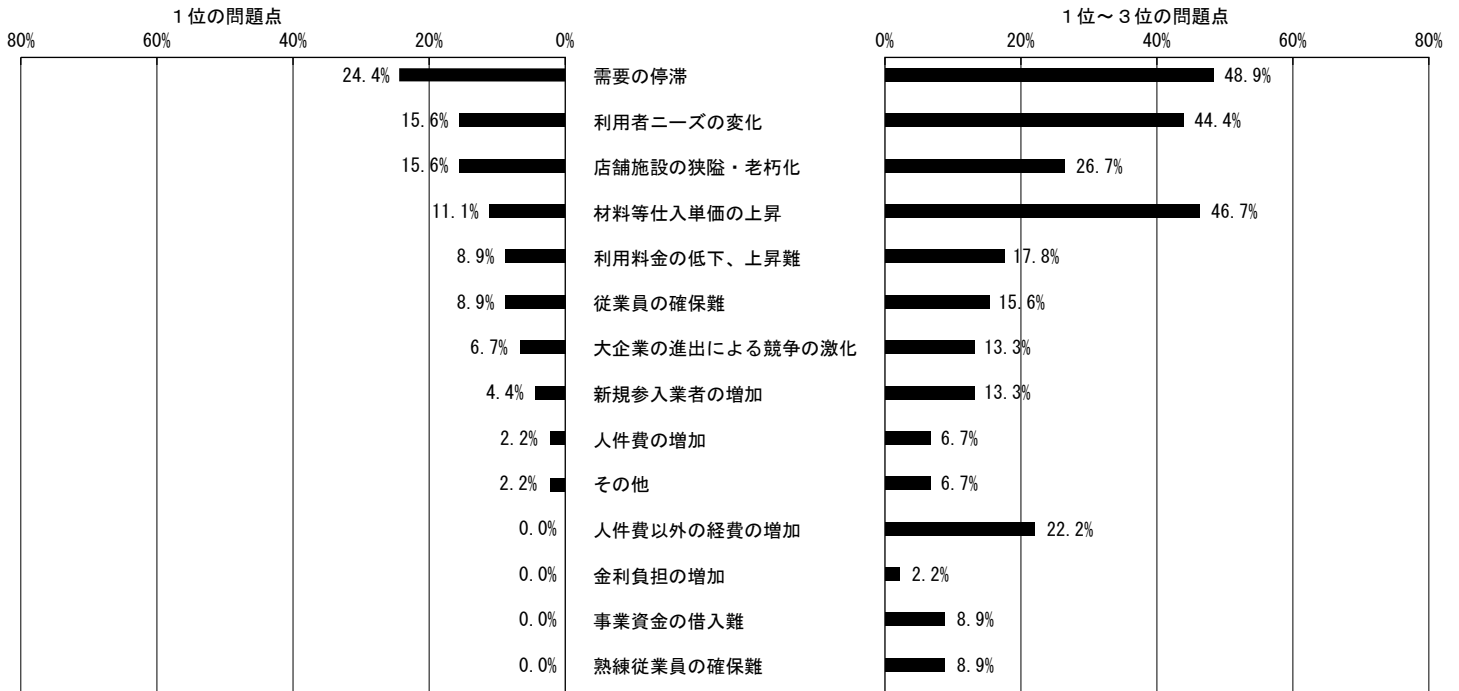
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の24.4%（11社）であり、2番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」、「店舗施設の狭隘・老朽化」の15.6%（7社）になる。そのあと、「材料等仕入単価の上昇」の11.1%（5社）と続く。

次に、「1 位～3位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の48.9%（22社）であり、2番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の46.7%（21社）になる。そのあと、「利用者ニーズの変化」の44.4%（20社）が続く。

山梨県 サービス業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	36
宿泊業	8	15
運送業	2	4
自動車整備業	4	6
洗濯・理美容業	16	30
その他のサービス業	4	9
合計	53	100

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇	い	企業数	構成比(%)
2 人以下	44	83.0	40	75.5
3 人～5 人以下	9	17.0	13	24.5
6 人～10 人以下	0	0.0	0	0.0
11 人～20 人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100	53	100